

第8期網走市介護保険事業計画の進捗状況について【令和3年度】

1. 高齢者数・要介護認定者数・認定率の推移

高齢者数・要介護認定者数については、下記の表のとおりです。

令和3年度の要介護認定者数については若干計画値を下回っており、計画どおりに介護サービスや地域支援事業が提供・実施されていた結果と言えます。

また、認定率については北海道平均、全国平均を大きく下回っており、以前より介護予防事業等に取り組んできた成果と介護予防・日常生活支援総合事業が充実している結果と考察されます。

なお、より詳細な認定率の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。

高齢者数(第1号被保険者数)

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
計 画	11,195 人	11,353 人	11,510 人	11,383 人	11,412 人	11,440 人
実 績	11,188 人	11,244 人	11,289 人	11,277 人		
比 率	99.9%	99.0%	98.1%	99.1%		

※ 実績は年度末の人数

要介護認定者数(第2号被保険者を含まない)

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
計 画	1,831 人	1,871 人	1,926 人	1,896 人	1,943 人	1,991 人
実 績	1,795 人	1,826 人	1,823 人	1,839 人		
比 率	98.0%	97.6%	94.7%	97.0%		

※ 実績は年度末の人数

令和3年度 介護度別要介護認定者数(第2号被保険者を含まない)

区分	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
計 画	176 人	288 人	350 人	392 人	286 人	231 人	173 人	1,896 人
実 績	146 人	289 人	372 人	404 人	240 人	219 人	169 人	1,839 人
比 率	83.0%	100.3%	106.3%	103.1%	83.9%	94.8%	97.7%	97.0%

※ 実績は年度末の人数

調整済認定率の推移(第2号被保険者を含まない)

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	15.0%	14.8%	14.4%	未公表		
北海道	18.5%	18.4%	18.3%	未公表		
全 国	17.1%	17.0%	17.0%	未公表		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より(年度末の数値)

また、日常生活圏域毎の概況及び特徴は下記のとおりです。

【日常生活圏域の概況】

(令和3年9月末日現在)

項 目	北圏域	中央・西 圏域	東・呼人 圏域	南圏域	市外 (※)	総 計
地 域 名	北 東・海 岸 町・北西・緑 町・字二ツ 岩・字明治・ 向陽ヶ丘	南東・港町・ 南西・錦町・ 台町・桂町・ 新町・大曲・ 字三眺・字天 都 山・字能 取・字平和・ 字卯原内・字 越歳・字嘉多 山・字二見ヶ 岡	駒 場 南 1 ～ 5 丁目・駒場 北 1 ～ 5 丁 目・潮見・字 呼 人・字八 坂・字東網 走・字中園	駒 場 南 6 ～ 8 丁目・駒場 北 6 丁目・つ くしヶ丘・鱒 浦・字豊郷・ 字藻琴・字昭 和・字山里・ 字稲富・字北 浜・字丸万・ 字実豊・字音 根内・字浦士 別・字栄・字 清浦		
面積（湖沼面積除）	43.98k m ²	163.21k m ²	48.6k m ²	133.64k m ²	—	389.43k m ²
人 口 （ ※ ）	5,490 人	8,902 人	11,616 人	8,043 人	—	34,051 人
第 1 号被保険者数	1,648 人	3,051 人	3,785 人	2,714 人	84 人	11,282 人
うち 75 歳以上	835 人	1,658 人	1,754 人	1,350 人	72 人	5,669 人
高 齢 化 率 （ ※ ）	30.0%	34.3%	32.6%	33.7%	—	33.1%
うち 75 歳以上	15.2%	18.6%	15.1%	16.8%	—	16.6%
第 1 号被保険者 要介護認定者数	297 人	543 人	522 人	398 人	72 人	1,832 人
認 定 者 割 合 （ ※ ）	18.0%	17.8%	13.8%	14.7%	85.7%	16.3%
圏域別認定者構成比	16.2%	29.7%	28.5%	21.7%	3.9%	100.0%
グ ル ー プ ホ ー ム 整 備 数	1 箇所	2 箇所	5 箇所	2 箇所	—	10 箇所
小 規 模 特 養 整 備 数	1 箇所	2 箇所	0 箇所	0 箇所	—	3 箇所
小 規 模 多 機 能 整 備 数	1 箇所	1 箇所	1 箇所	0 箇所	—	3 箇所
地 域 密 着 型 特定施設整備数	0 箇所	0 箇所	0 箇所	1 箇所	—	1 箇所
地域密着型通所・ 認知デイ整備数	1 箇所	1 箇所	3 箇所	2 箇所	—	7 箇所

※ 「市外」は網走市外の住所地特例対象施設入所者数を記載。

※ 「人口」は住民基本台帳の実績値を記載。

※ 「高齢化率」は「人口」÷「第1号被保険者数」で算出。

※ 「認定者割合」＝「第1号被保険者要介護認定者数」÷「第1号被保険者数」

【日常生活圏域の特徴】

日常生活圏域	特 徴
北圏域	市街地、住宅地を中心とし構成されており、古くから栄えた地区と住宅地区が介在しており、4 圏域の中で面積・人口・第 1 号被保険者数ともに一番小さい圏域です。高齢化率は、4 圏域で一番低いですが、認定者割合は一番高い状況となっています。このことは、官公署の職員住宅が圏域内に整備されていること等が要因となり高齢化率が低く、また、一人暮らしの割合が 4 圏域で一番高いことから認定者割合が高いものと考察されます。
中央・西圏域	中心市街地と大曲地区を中心とした住宅地、広い農地・山間地に散在する西部地区の農村・漁村集落で構成され、国道 238 号線を幹線道路としています。この圏域の高齢化率は 4 圏域の中で最も高く、認定者割合も「北」圏域に次ぐ高さとなっています。このことは、高齢率が高い大曲地区が含まれること、郊外の農村・漁村集落が他圏域に比べ広く分布していることなどに起因していると考えられます。また、生活体制整備事業にいち早く取り組んでいる圏域です。令和 4 年度には小規模特別養護老人ホームの整備(増床)を予定しています。
東・呼人圏域	潮見地区を中心とした住宅地と呼人地区を中心とした観光宿泊地で構成され、国道 39 号線及び道々中園網走停車場線を幹線道路としています。圏域内の人口・第 1 号被保険者数は、4 圏域の中で最も多くなっています。これは、圏域の中に大規模な潮見地区の住宅地が含まれているためと考えられます。高齢化率は、市の平均とほぼ同率となっていますが、認定者割合は市内で一番低くなっており、このことは、前期高齢者の方の割合が高いために考察されます。
南圏域	駒場・つくしヶ丘地区の商業地・住宅地と南部地区の農村・漁村集落で構成され、国道 244 号線及び市道つくしヶ丘本通線を幹線道路としています。圏域面積は「中央・西」圏域の次に大きい圏域でとなっています。高齢化率は市の平均とほぼ同率となっていますが、認定者割合は市の平均より低くなっています。このことは、前期高齢者の方の割合が高いために考察されます。

2. サービス利用状況

サービス利用状況については、下記の表のとおりです。長期入院などを含め認定者の一定数がサービスを利用していない現状があります。

認定者のサービス利用率（第 2 号被保険者を含まない）

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
認定者	1,795 人	1,826 人	1,823 人	1,846 人		
利用者	1,449 人	1,472 人	1,486 人	1,524 人		
利用率	80.7%	80.6%	81.5%	82.6%		

※ 実績は年度末の人数

3. 受給率の推移

受給率とはサービスの受給者数を第 1 号被保険者で除した値を百分率で示したものです。市内に施設が少ないことから施設サービス受給率が北海道平均、全国平均と比べて低い状況ですが、令和 2 年に特別養護老人ホームが増改築、介護医療院が新規開設されたことから、令和 3 年度は増加しています。一方、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)などが充実していることから、居住系サービスの受給率が高い状況です。

なお、より詳細な受給率の推移や近隣保険者との比較については別紙 1 のとおりとなっています。(厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」の数値は令和 4 年 5 月 24 日現在のもの)

【施設サービス】 特別養護老人ホーム・老健など

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	2.2%	2.2%	2.3%	2.5%		
北海道	2.8%	2.7%	2.7%	2.7%		
全 国	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【居住系サービス】 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) など

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	2.6%	2.6%	2.9%	2.9%		
北海道	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%		
全 国	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【在宅サービス】 訪問介護(ヘルパー)、通所介護(デイサービス) など

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	8.2%	8.5%	8.2%	8.2%		
北海道	8.9%	9.1%	9.3%	9.6%		
全 国	9.6%	9.8%	9.9%	10.2%		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

4. 受給者1人あたり介護給付費の推移

市内に認知症対応型共同生活介護(グループホーム)や特定施設等が充実していることから、在宅及び居住系サービス受給者1人あたりの介護給付費が全国及び北海道平均と比べ高い状況です。また、報酬改定の影響もあり、介護給付費が増えています。

なお、より詳細な給付費の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。(厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」の数値は令和4年5月24日現在のもの)

【在宅及び居住系サービス】(月あたり)

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	130,173 円	127,645 円	133,183 円	134,936 円		
北海道	118,578 円	119,834 円	120,303 円	122,364 円		
全 国	128,185 円	128,829 円	129,416 円	131,524 円		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【在宅サービス】(月あたり)

区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
網走市	103,292 円	100,516 円	103,220 円	104,432 円		
北海道	101,464 円	102,860 円	103,081 円	105,343 円		
全 国	117,519 円	118,025 円	118,274 円	120,380 円		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

5. 居宅介護サービスの利用状況

計画に対する居宅介護サービス毎の実績は下記のとおりです。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり通所系サービスが計画を下回っていますが、その補完的要素から訪問系サービスが計画を上回っています。 ※実績は年度平均

(1) 居宅介護支援・介護予防支援

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	229	235	240
実 績	223		
比 率	97.3%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	683	705	714
実 績	675		
比 率	98.8%		

(2) 訪問介護

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	5,159	5,310	5,279
実 績	5,155		
比 率	99.9%		

(3) 訪問入浴介護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	3	3	3
実 績	0		
比 率	0.0%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	45	50	45
実 績	55		
比 率	122.2%		

(4) 訪問看護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	198	206	213
実 績	165		
比 率	83.3%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	948	977	990
実 績	1,022		
比 率	107.8%		

(5) 訪問リハビリテーション

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	367	376	392
実 績	483		
比 率	131.6%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	622	630	637
実 績	1,196		
比 率	192.2%		

(6) 居宅療養管理指導

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	10	11	11
実 績	11		
比 率	110.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	65	66	67
実 績	214		
比 率	329.2%		

(7) 通所介護（デイサービス）

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	1,374	1,429	1,459
実 績	943		
比 率	68.6%		

(8) 通所リハビリテーション（デイケア）

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	80	82	83
実 績	0		
比 率	0.0%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	1,178	1,217	1,283
実 績	1,022		
比 率	86.8%		

※介護予防サービスは、月単位の定額報酬のため、人数で記載

(9) 福祉用具貸与

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	125	127	130
実 績	134		
比 率	107.2%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	379	391	393
実 績	365		
比 率	96.3%		

(10) 特定福祉用具販売

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	5	5	5
実 績	5		
比 率	100.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	7	7	7
実 績	9		
比 率	128.6%		

(11) 住宅改修費の支給

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	5	5	5
実 績	6		
比 率	120.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	11	11	11
実 績	8		
比 率	72.7%		

(12) 短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）

短期入所生活介護(予防)の利用状況(日／月)

区分	R03	R04	R05
計 画	8	12	12
実 績	9		
比 率	112.5%		

短期入所生活介護(介護)の利用状況(日／月)

区分	R03	R04	R05
計 画	665	674	658
実 績	494		
比 率	74.2%		

短期入所療養介護(老健・予防)の利用状況(日／月)

区分	R03	R04	R05
計 画	10	10	10
実 績	12		
比 率	120.0%		

短期入所療養介護(老健・介護)の利用状況(日／月)

区分	R03	R04	R05
計 画	674	706	688
実 績	417		
比 率	61.9%		

短期入所療養介護(病院等・予防)の利用状況(日／月)

区分	R03	R04	R05
計 画	0	0	0
実 績	0		
比 率	0.0%		

短期入所療養介護(病院等・介護)の利用状況(日／月)

区分	R03	R04	R05
計 画	61	62	62
実 績	0		
比 率	0.0%		

(13) 特定施設入居者生活介護（介護専用型・混合型）

介護予防サービスの利用状況(人／月)

区分	R03	R04	R05
計 画	13	13	14
実 績	13		
比 率	100.0%		

介護サービスの利用状況(人／月)

区分	R03	R04	R05
計 画	127	130	132
実 績	129		
比 率	101.6%		

6. 地域密着型サービスの充実

計画に対する地域密着型サービス毎の実績は下記のとおりです。概ね計画どおり利用されています。 ※実績は年度平均

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

介護予防サービスの利用状況(人／月)

区分	R03	R04	R05
計 画	0	0	0
実 績	0		
比 率	0.0%		

介護サービスの利用状況(人／月)

区分	R03	R04	R05
計 画	4	4	4
実 績	3		
比 率	75.0%		

(2) 夜間対応型訪問介護

第8期計画策定時において、市内に事業参入する事業者がなかったため、サービス量を見込んでおらず、利用実績もありませんでした。

(3) 地域密着型通所介護

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	1,010	1,042	1,047
実 績	952		
比 率	94.3%		

(4) 認知症対応型通所介護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	4	4	4
実 績	8		
比 率	200.0%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	539	568	578
実 績	481		
比 率	89.2%		

(5) 小規模多機能型居宅介護

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	7	7	8
実 績	3		
比 率	42.9%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	31	32	32
実 績	30		
比 率	96.8%		

(6) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	0	0	0
実 績	0		
比 率	0.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	171	171	171
実 績	169		
比 率	98.8%		

(7) 地域密着型特定施設入居者生活介護

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	20	20	20
実 績	20		
比 率	100.0%		

(8) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	56	56	74
実 績	56		
比 率	100.0%		

(9) 看護小規模多機能型居宅介護（旧複合型サービス）

第8期計画策定時において、市内に事業参入を検討している事業者がなかったため、サービス量を見込んでおらず、利用実績もありませんでした。

7. 施設サービスの充実

計画に対する施設サービス毎の実績は下記のとおりです。老人保健施設の増床中止しや介護医療院の開設遅れがあり、令和2年度は全ての施設サービスで計画を下回りました。 ※実績は年度平均

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	99	103	106
実 績	93		
比 率	93.9%		

※上記には、市外施設利用分も含む

(2) 介護老人保健施設（老人保健施設）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	120	122	124
実 績	106		
比 率	88.3%		

※上記には、市外施設利用分も含む

(3) 介護医療院（介護療養病床施設）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	R03	R04	R05
計 画	40	40	40
実 績	28		
比 率	70.0%		

※上記には、市外施設利用分も含む

8. きめ細やかな介護保険制度運営の推進

(1) 市町村特別給付の推進（ロードヒーティング施工費・いす式階段昇降機施工費）

ロードヒーティング施工費支給件数（人／年）

区分	R03	R04	R05
計 画	1	1	1
実 績	0		
比 率	0.0%		

ロードヒーティング施工費支給金額（千円／年）

区分	R03	R04	R05
計 画	270	270	270
実 績	0		
比 率	0.0%		

いす式階段昇降機施工費支給件数(人／年)

区分	R03	R04	R05
計 画	1	1	1
実 績	0		
比 率	0.0%		

いす式階段昇降機施工費支給金額(千円／年)

区分	R03	R04	R05
計 画	270	270	270
実 績	0		
比 率	0.0%		

(2) 低所得者対策の推進

介護保険では、サービス利用者は費用の1割～3割の自己負担が基本（介護サービス計画作成費を除く）となりますが、低所得者への配慮から、次のような負担軽減措置を講じました。

- 施設サービス・短期入所サービスを利用した場合の食費・居住費の減額
- 所得に応じた高額介護サービス費、高額医療・高額介護合算療養費の負担上限額の設定
- 社会福祉法人等により生計困難者に対する利用者負担軽減がなされた場合の法人助成(社会福祉法人軽減)

このうち、社会福祉法人軽減については、国が平成17年10月から軽減率を引き下げ（利用者負担を7.5％へ引き上げ）や施設入所者の居住費・食費の軽減などの見直しを実施しましたが、当市では【独自軽減】として、5％に軽減し、施設入所者の居住費・食費の軽減については実施していません。

今後、国制度への完全転換も視野に入れ、令和4年8月より資産要件を導入するなど、より公平な制度となるよう努力していきます。

(3) 介護認定審査会の共同設置及び審査会委員の資質向上、公平性・公正性の確保

要介護者の審査判定業務を行うため、市町村に介護認定審査会を設置することとなっており、当市の場合は、審査会委員の確保や広域的に公平な審査判定の確保、また、事務の効率化・経費削減が図られる等の観点から、この審査会を近隣の斜里町・清里町・小清水町の1市3町共同で設置しています。

3町と十分に連携を図り、令和3年10月には事務等担当者会議を開催するなどして審査会の円滑な実施に努めてきました。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年12月より介護認定審査会のオンライン開催を実施しています。

また、北海道オホーツク総合振興局保健環境部保健行政室などと連携し、審査会委員現任研修を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、令和3年度は中止となりました。

(4) 情報公表の実施促進

利用者が適切かつ円滑に介護サービスを選択することが可能となるよう、北海道への情報提供を行うとともに、介護サービス事業者に対する実地指導等を通じて、情報公表を行うよう指導に努めました。

また、被保険者に対しては「介護保険いきいきガイドブック」やホームページ等の活用により事業者情報の周知を行いました。

(5) 事業所への適切な指定・指導等の実施

事業者に対する実地指導の中で、基準の遵守、サービス内容の評価・点検等を行ってきました。また、令和4年3月には地域密着型サービス事業所・居宅介護支援事業所に参集してもらい集団指導を行う予定でしたが、市内での新型コロナウイルス感染症の状況等から、書面による開催に変更しました。

(6) ケアマネジメントに関する基本方針の周知

介護保険制度の根幹であるケアマネジメントのあり方を保険者と介護支援専門員で共有することを目的とし、「網走市ケアマネジメントに関する基本方針」を策定し実地指導等を通じて事業者にも周知しました。

(7) 介護給付の適正化の推進

過剰な給付を抑制し、長期的に安定した介護保険財政の運営につなげるため、費用の適正化のための検証等に努めてきました。目標項目に対する実施状況は下記のとおりですが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から介護認定審査会委員研修会については中止しました。

項目	実施方法	実施目標	実施状況
要介護認定の適正化	○一次判定から二次判定の軽重度変更率の差や、認定審査会の合議体間の差異について分析を行い、差異を縮小させるための取り組み(研修会の開催等)を実施	・年1回以上の研修会を開催	新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止
	○要介護認定・要支援認定新規申請及び区分変更申請に係る調査については保険者直営により実施	・全件実施	・全件実施
	○更新申請を含む調査票の点検を実施		
ケアプランの点検	抽出によるケアプラン点検を実施	・各居宅支援事業所年1件以上	・83件実施 (居宅支援事業所4事業所・その他の事業所3事業所)
住宅改修等の点検	【住宅改修】施工前の工事見積書、竣工写真等により、住宅改修の施工状況等を点検。また、改修費が高額であるもの等を抽出し施工前及び施工後の現地点検等を実施	・全件実施	・全件実施 (高額改修等に対する現地点検2件実施)
	【福祉用具購入調査】福祉用具購入に関し金額等を点検	・全件実施	・全件実施
縦覧点検・医療情報との突合	国保連への委託等により実施	・全件実施	・全件実施
介護給付費通知	住宅改修及び福祉用具購入者に対し、給付費金額を通知	・全件実施	・全件実施

9. 災害や感染症対策に係る体制整備

近年、大規模な自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症の流行等、これまではなかった備えが必要となってきました。新型コロナウイルス感染症関連では厚生労働省の施設・居住系事業所に対する抗原定性検査キット配布の集約業務を行うとともに、感染症予防の徹底に向けた資料の周知等を行いました。今後は、各サービス事業所が令和6年3月までに策定が求められている業務継続計画（BCP）の策定に向け、必要に応じて情報提供、助言等を行っていきます。

10. 介護人材確保の推進

介護サービスを維持・整備していくためには、量だけでなく質の高い介護人材を継続的・安定的に確保することが必要不可欠です。新型コロナウイルス感染症予防の観点から介護職員のスキルアップ研修会の開催はできませんでしたが、下記の事業に取り組みました。

- | | |
|---------------------------|-------------|
| ●介護初任者研修受講に対する助成 | 4人 |
| ●介護支援専門員研修受講に対する助成 | 1人 |
| ●入門的研修の実施（北海道社会福祉協議会との共催） | 1回（市民15名参加） |

11. 重度化防止の取組に関する目標

（1）重度化防止に向けた総体的な数値目標

第8期計画においては「地域支援事業の実施による要介護状態になることの予防」や「生活機能向上のためのリハビリテーション」など個々の施策・事業を通じて高齢者の自立支援や重度化防止に取り組むこととしましたが、総体的な指標として「第1号被保険者における要介護3以上の割合」を重度化防止の数値目標として掲げました。「地域包括ケア『見える化』システム」による最新実績である令和3年3月末の数値については下記のとおりです。

	現 状 (R01末)	目 標 (R05末)	実 績 (R02末)	差 異
調整済み重度認定率	5.5%	5.5%以下	5.0%	△0.5

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」調整済み重度認定率より記載

※「調整済み認定率」～認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率

※「重度認定率」～要介護3以上の認定者の人数を第1号被保険者の人数で除した値

(2) 具体的な取り組み目標

介護予防、重度化防止に係る具体的な取り組み目標・実績は下記のとおりです。今後
も目標に向けて取り組みを進めます。

①フレイル・要支援状態の高齢者に対する適切な生活期リハビリテーションサービス 提供体制の構築

ア. 初回アセスメント時におけるリハビリ専門職派遣回数の増加

計画策定時 (R02末見込)	R02末実績	目標 (R05末)	実績 (R03末)
5 回	4 回	24 回	2 回

②地域における通いの場の充実

ア. 高齢者ふれあいの家・各種トレーニング教室への参加者の増加

計画策定時 (R02末見込)	R02末実績	目標 (R05末)	実績 (R03末)
1,500 人	1,468 人	1,605 人	1,352 人

イ. 心身の健康度が維持または向上したと感じる参加者割合

現状 (R02末見込)	目標 (R05末)	実績 (R03末)
通いの場参加者へのアンケートの実施	70%	83.2%

※実績についてははらくらく健康トレーニングアンケートによる

保険者名																				網走市		
活用データ名・指標名	単位	備考	データの値																全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)
			自保険者				北海道平均				全国平均				比較地域(北見市)							
			H30	H31(R1)	R2	R3	H30	H31(R1)	R2	R3	H30	H31(R1)	R2	R3	H30	H31(R1)	R2	R3				
認定率	％	見える化・時系列(各年度年報、R2・R3のみ月報)	16.1	16.2	16.2	16.4	19.8	20.0	20.3	20.5	18.3	18.4	18.7	18.8	20.1	20.3	20.5	20.8	●全国・全道と比べて低い	●早くより予防事業に取り組んでいる成果と考察(H12より介護予防事業に着手)		●今後も各種取組を継続していく
調整済み認定率	％	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	15.0	14.8	14.4	※	18.5	18.4	18.3	※	17.1	17.0	17.0	※	18.6	18.5	18.3	※				
調整済み重度認定率(要介護3～5)	％	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	4.9	5.3	5.0	※	5.2	5.2	5.1	※	5.8	5.8	5.7	※	5.4	5.5	5.3	※				
調整済み軽度認定率(要支援1～要介護2)	％	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	10.0	9.5	9.4	※	13.2	13.2	13.2	※	11.3	11.3	11.2	※	13.2	13.0	12.9	※				
受給率(施設サービス)	％	見える化・時系列(各年度年報、R2・R3のみ月報)	2.2	2.2	2.3	2.5	2.8	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8	2.5	2.6	2.6	2.6	●受給率は全国・北海道と比べ施設が低く、居住系が高い。	●周辺に特養等の施設が少なく、市内にはGH、サ高住(特定)等が多い ●令和2年の介護医療院・特養の整備等により施設サービス受給率が増加傾向		●今後も各種取組を継続していく
受給率(居住系サービス)	％	見える化・時系列(各年度年報、R2・R3のみ月報)	2.6	2.6	2.9	2.9	1.7	1.7	1.7	1.7	1.3	1.3	1.3	1.3	1.8	1.8	1.8	1.7				
受給率(在宅サービス)	％	見える化・時系列(各年度年報、R2・R3のみ月報)	8.2	8.5	8.2	8.2	8.9	9.1	9.3	9.6	9.6	9.8	9.9	10.2	10.3	10.6	10.6	11.0				
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	円	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	130,173	127,645	133,183	134,936	118,578	119,834	120,303	122,364	128,185	128,829	129,416	131,524	125,500	124,718	125,227	126,664	●在宅系サービスの利用日数・回数が全国・道平均より低い ●在宅系サービス1人あたり給付月額は全国より低い ●GHは平均的	●全国と比較し日数が少ないのは人材不足等により需要に供給が追いついていないのではないか。	●介護人材関係について事業所への聞き取り、意見交換会等を実施(H28～)	●今後も各種取組を継続するとともに介護人材確保に向け下記の取組を実施していく。 ●介護人材の育成 →初任者研修受講補助金の創出(H28～) →ケアマネ再研修受講補助金の創出(R03～) ●介護人材の離職防止 →新人合同研修交流会の開催(H29～) ●潜在的介護人材等の発掘の取組 →再就職研修(H29～) →入門的研修(H30～) ●介護フェア(仮)の開催 →介護人材確保に向け中高生を含む一般市民向けの事業所説明会等を開催(R04) ●軽度者の生活支援に特化した総合事業サービスの創出 →今後の課題
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	円	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	103,292	100,516	103,220	104,432	101,464	102,860	103,081	105,343	117,519	118,025	118,274	120,380	108,962	108,566	109,052	111,050				
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	円	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	59,871	58,312	62,947	65,146	65,000	67,143	72,228	74,464	67,103	68,919	73,422	75,719	63,773	64,494	69,326	69,928				
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	回	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	17.3	16.6	16.9	17.6	23.4	23.9	25.2	26.0	23.6	24.0	25.1	25.8	21.2	21.2	22.4	22.3				
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	円	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	44,843	47,736	46,357	43,895	55,325	56,478	58,230	59,293	80,623	81,668	85,002	86,407	55,350	56,909	58,498	58,843				
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	日	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	7.7	7.8	7.3	6.9	8.1	8.2	8.2	8.4	10.6	10.7	10.9	11.2	7.9	8.1	8.1	8.3				
受給者1人あたり給付月額(通所リハ)	円	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	51,453	46,984	49,559	50,573	51,513	50,944	51,722	52,825	59,758	58,520	59,313	60,675	58,523	49,831	48,867	50,681				
受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハ)	日	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	4.8	4.1	4.4	4.6	5.2	5.1	5.0	5.1	6.1	5.9	5.9	6.0	6.2	5.3	5.0	5.2				
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	円	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	69,106	71,710	75,755	79,866	86,535	87,600	102,902	101,697	94,811	96,163	108,505	109,770	75,272	78,828	93,320	94,828				
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	日	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	9.9	10.3	10.6	10.1	11.1	11.1	12.7	12.5	11.6	11.7	12.9	12.9	9.8	10.2	11.6	11.9				
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	円	見える化・時系列(各年度年報、R2のみ月報)	246,221	245,364	253,347	258,329	247,712	251,008	254,855	258,751	250,256	253,116	256,464	260,340	251,848	252,468	255,582	261,559				

●厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より記入。(令和4年5月24日時点)